

富士通のデータベース「FUJITSU Software Enterprise Postgres（以降、Enterprise Postgres）13」が2021年4月にリリースされました。ここでは、Enterprise Postgres 13 の製品概要をご紹介します。

## Enterprise Postgres 13 ご紹介

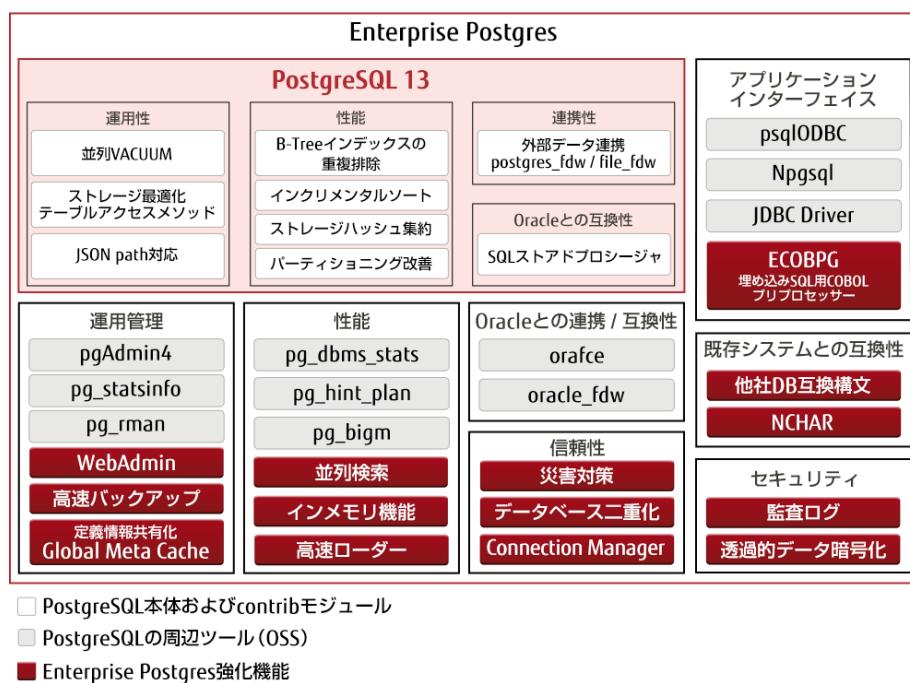
Enterprise Postgres は、堅牢な運用性が求められるミッションクリティカルシステムに対応するため、PostgreSQL を拡張し、信頼性、性能、セキュリティを強化したデータベースです。開発当初より、運用操作の操作性向上のための独自 GUI（WebAdmin）の提供や周辺 OSS の取り込み（運用ツールやクライアントドライバー）による連携性向上など、さまざまな側面から PostgreSQL の機能を拡張してきました。特に、セキュリティや可用性、運用性などミッションクリティカルシステムで求められる機能を中心にお機能拡張を継続していますが、近年は大容量・高トランザクションへの要件に応えるため、性能や信頼性をより高めてきました。

### 関連コンテンツ

- PostgreSQL をミッションクリティカル領域へ

同時に、PostgreSQL のバージョンアップに追従し製品をリリースしてきました。Enterprise Postgres 13においても、PostgreSQL 本体と製品に同梱されている OSS が最新化されています。

以下の図は、Enterprise Postgres 13 が提供する機能の一部です。



最新の PostgreSQL 13 ではどのようなエンハンスがあるかを PostgreSQL 13 Press Kit からご紹介します。

PostgreSQL 13 では、インデックス作成およびロックアップシステムが大幅に改善されています。これにより、インデックスのスペース節約とパフォーマンス向上、集約またはパーティションを使用するクエリの応答時間の高速化、拡張された統計情報を使用する場合のクエリ計画の改善など、大規模なデータベースにメリットがあります。

並列バックヤード処理やインクリメンタルソートなどの要求の高い機能に加えて、PostgreSQL 13 は、日々の管理のための最適化、アプリケーション開発者の利便性の向上、セキュリティの強化により、大小のワーカロードに対してより良いデータ管理エクスペリエンスを提供します。

#### 【出典】

- PostgreSQL 13 Press Kit (The PostgreSQL Global Development Group)

このように PostgreSQL 13 は、大規模システムに向けた性能、省スペース化、セキュリティが強化されています。PostgreSQL 13 の機能の詳細については以下でもご紹介していますので、あわせてご覧ください。

#### 関連コンテンツ

- 富士通 PostgreSQL チームのシニアディレクター Amit Kapila を紹介：技術者 Blog

また、PostgreSQL 13 には、富士通が Enterprise Postgres 12 の機能として先行提供した「VACUUM / TRUNCATE の性能改善」の一部が取り込まれています。この機能は、VACUUM / TRUNCATE 処理における共有バッファーのスキアン方法を改善することで、性能を向上させています。このように、PostgreSQL は、Enterprise Postgres の拡張機能と合わせて、よりミッションクリティカルなシステムに最適なデータベースへと進化しています。そして、富士通は独自機能の提供だけではなく、PostgreSQL コミュニティーへの機能提案や機能開発を通して PostgreSQL の進化を支えています。

2021 年 4 月 9 日